

各 位

上場会社名	株式会社 シスウェブホールディングス
代表者	代表取締役社長 宮嶋 淳
(コード番号)	6636)
問合せ先責任者	管理部長 田口 伸之介
(TEL)	044-738-2470)

平成26年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年5月16日に公表いたしました平成26年3月期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,050	100	80	80	14.34
今回修正予想(B)	1,502	△519	△683	△542	△97.20
増減額(B-A)	△548	—	—	—	
増減率(%)	△26.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	1,321	△541	△565	△454	△1,525.88

(注)一株当たりの当期純利益については、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行った影響を考慮した金額を記載しております。

修正の理由

(売上高)

当社グループの主たる事業である半導体製造事業において、発注者である大手半導体メーカーの事業戦略の変更から、想定売上高のうち約250百万円の計上が来期繰越となったこと、及び株式会社リアルビジョンへの株式会社上武の売却に伴って生じた株式会社上武の売上高計上取止めにより、約230百万円が減少したことが主要因です。なお、株式会社上武の売上高計上取止めによる連結売上高約230百万円減少は、平成25年12月9日に開示可能でありましたが、開示を失念していたものです。

(営業利益)

半導体製造事業において、想定売上高のうち約250百万円の計上が来期繰越となったことに伴い、200百万円の利益押下げが発生したこと、当社単体の新規事業に係る営業費用の増大による利益押下げ160百万円、スーパーソルガム種子販売の一部来期繰越による利益計上見送り80百万円が主要因です。株式会社上武の売上高計上取止めによる営業利益への減少影響は75百万円です。

(経常利益)

半導体製造事業において、営業利益200百万円の押下げが発生したことに伴い、経常利益200百万円の計上を見送ったこと、当社単体の新規事業に係る営業利益押下げ160百万円による経常利益押下げがマイナス160百万円、スーパーソルガム種子販売の一部来期繰越による営業利益計上見送りに係る経常利益押下げがマイナス80百万円の影響を与えました。さらに、ライセンス費用として営業外費用110百万円及びリアルビジョンによる営業外費用50百万円を計上したため、合計で683百万円のマイナスとなりました。なお、株式会社上武の売却に伴う営業利益減少による経常利益への減少影響は75百万円です。

(当期純利益)

当期純利益の減少理由は、経常利益の減少理由と同様ですが、株式会社リアルビジョンへの株式会社上武の売却益を特別利益として計上するため、経常利益の予想からマイナス幅が146百万円減少しています。なお、平成25年12月9日付開示「子会社の異動(株式譲渡)及び子会社における事業の一部廃止に関するお知らせ」では特別利益計上額を215百万円と記載していますが、売却先の株式会社リアルビジョンは持分法適用会社であることから、連結当期純利益への計上額は146百万円を予定しておりますが、最終的な確定額は、平成25年12月末日以降に決定するため、必要に応じて開示いたします。

以 上